



沖縄の伝統食品

「豆腐よう」について

「協議会会長を訪問しました」

令和6年8月、県内の豆腐よう製造事業7社が「豆腐よう協議会」を設立したことが発表されました。これを機に協議会会長、事務局及び関係者の方々からお話を伺いましたので紹介します。

豆腐ようは沖縄独特の発酵食品で、琉球王府の祝い事などの料理に用いられた貴重な逸品とされており、今から約30年前、琉球大学農学部安田正昭教授（現在…琉球大学・沖縄大学名誉教授）により製法のメカニズムが解き明かされました。今では、お土産品などとして販売されています。製造事業者により「塩辛い腐乳を減塩し、日持ちするように泡盛を使用して漬けた先人の知恵は素晴らしい」とのお話がありました。

豆腐よう協議会は、HACCP（※）義務化に伴い沖縄県工業技術センターの呼びかけで、製造事業7社が集まり研究会を開催したことがきっかけで設立され、会長は株式会社琉球うりずん物産の久高代表が就任、事務局は海洋食品株式会社に設置されました。久高会長は、「10月24日に豆腐よう（とう）（10）ふ（2）よう（4）」



豆腐よう



事務局長、協議会会長

の語呂合わせでPRをしていきたい。各社独自の仕込み方によって、各社ごとに味の個性が違うのも魅力で、沖縄だけでなく全国の皆様にも味わっていただけることを期待している」と意気込みを語っていただきました。

※食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法

お問合せ先

農林水産部 消費・安全課
☎098-866-1672



次世代の子供たちに

建設産業の役割と魅力をPR

「第6回おきなわ建設フェスタ」

令和6年11月10日に、沖縄県総合運動公園（沖縄市）において、「第6回おきなわ建設フェスタ」が開催されました。



多くの方にパネルの展示を見ていただきました！

機械の試乗、測量やミニドローン操作体験といった各種イベントを親子で楽しんでもいました。

開発建設部からは、インフラ整備や防災、建設産業の取組に関するパネル展示や、ぬり絵体験コーナー（首里城やダムなど）を出展しました。130名を超える子供たちがぬり絵に挑戦するなか、保護者からはパネルの内容への質問も数多く出されるなど、盛況のうちに終了しました。



ぬり絵体験の様子

このイベントは、建設産業のイメージアップを図るため、次世代を担う子供と保護者に、建設産業の役割と魅力をPRすることを目的として、毎年、県内の建設産業関連団体が主催しております。今年は1万人（主催者発表）のご家族が来場し、建設

お問合せ先

開発建設部 建設産業・地方整備課
☎098-866-1910